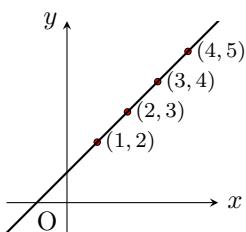


点の座標  $(1, 2), (2, 3), (3, 4), (4, 5), \dots, (x, x+1), \dots$   
これらを座標平面上に並べると、直線になる。



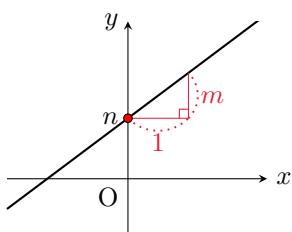
これらの点の  $y$  座標は  $x + 1$  と表すことができるので、

$$y = x + 1$$

という方程式で表すことができる。逆に、この方程式は、この直線上の無数の点の集合を表すことができる。

中学校では直線の方程式は  $y = mx + n$  と学んだ。

これは、 $y$  切片が  $n$ 、傾きが  $m$  の直線である。



次のような式も直線の式である。

$$ax + by + c = 0$$

- $a \neq 0, b \neq 0$  のとき、

$$by = -ax - c$$

$$y = -\frac{a}{b}x - \frac{c}{b}$$

これは、 $y$  切片が  $-\frac{c}{b}$ 、傾き  $-\frac{a}{b}$  の直線である。

- $a = 0, b \neq 0$  のとき、

$$by = -c$$

$$y = -\frac{c}{b}$$

これは、 $x$  軸と平行な、高さが  $-\frac{c}{b}$  で一定の直線

- $a \neq 0, b = 0$  のとき、

$$ax = -c$$

$$x = -\frac{c}{a}$$

これは、 $x = -\frac{c}{a}$  を通る垂直な直線である。

**例 1** 次の直線を座標平面に描きなさい。

$$(1) 2x - 3y + 3 = 0$$

$$(2) 3y - 5 = 0$$

$$(3) 2x - 3 = 0$$

**問 1** 次の直線を座標平面に描きなさい。

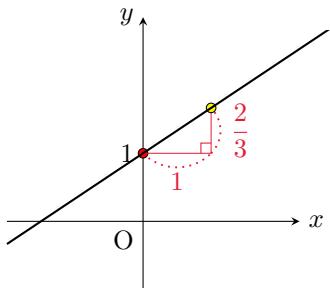
$$(1) 3x + 5y - 5 = 0$$

$$(2) 3x + 5 = 0$$

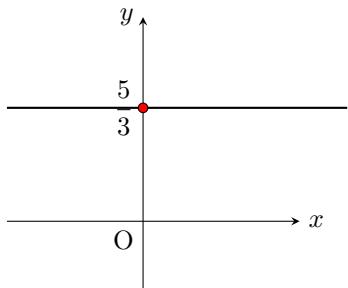
$$(3) 4y - 3 = 0$$

**例 1** 次の直線を座標平面に描きなさい。

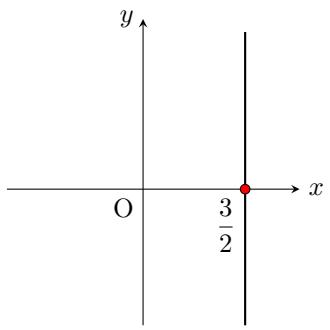
$$(1) \quad 2x - 3y + 3 = 0 \quad y = \frac{2}{3}x + 1 \text{ と変形できる。}$$



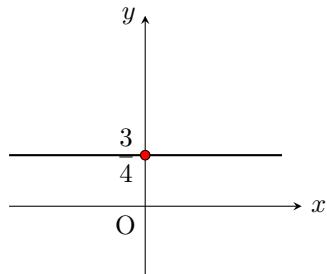
$$(2) \quad 3y - 5 = 0 \quad y = \frac{5}{3} \text{ と变形できる。}$$



$$(3) \quad 2x - 3 = 0 \quad x = \frac{3}{2} \text{ と变形できる。}$$

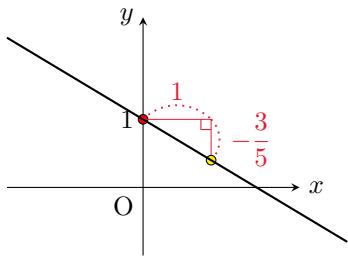


$$(3) \quad 4y - 3 = 0 \quad y = \frac{3}{4} \text{ と变形できる。}$$



**問 1** 次の直線を座標平面に描きなさい。

$$(1) \quad 3x + 5y - 5 = 0 \quad y = -\frac{3}{5}x + 1 \text{ と変形できる。}$$



$$(2) \quad 3x + 5 = 0 \quad x = -\frac{5}{3} \text{ と变形できる。}$$

